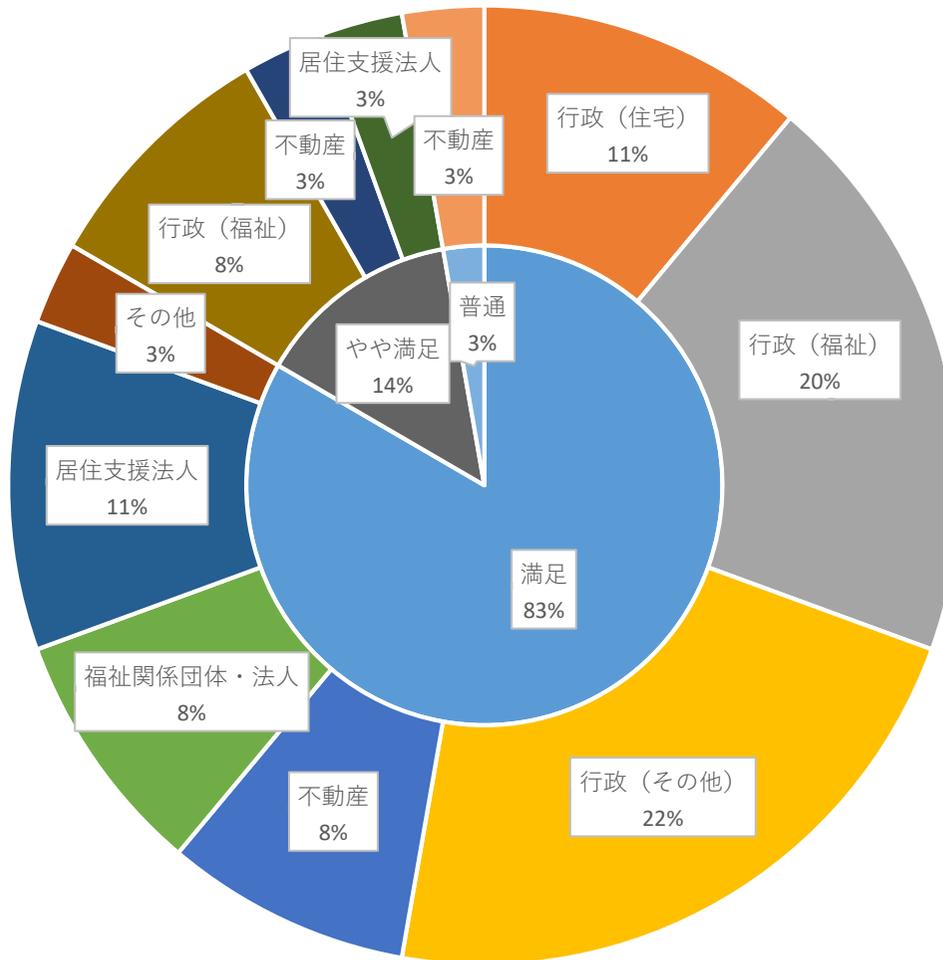
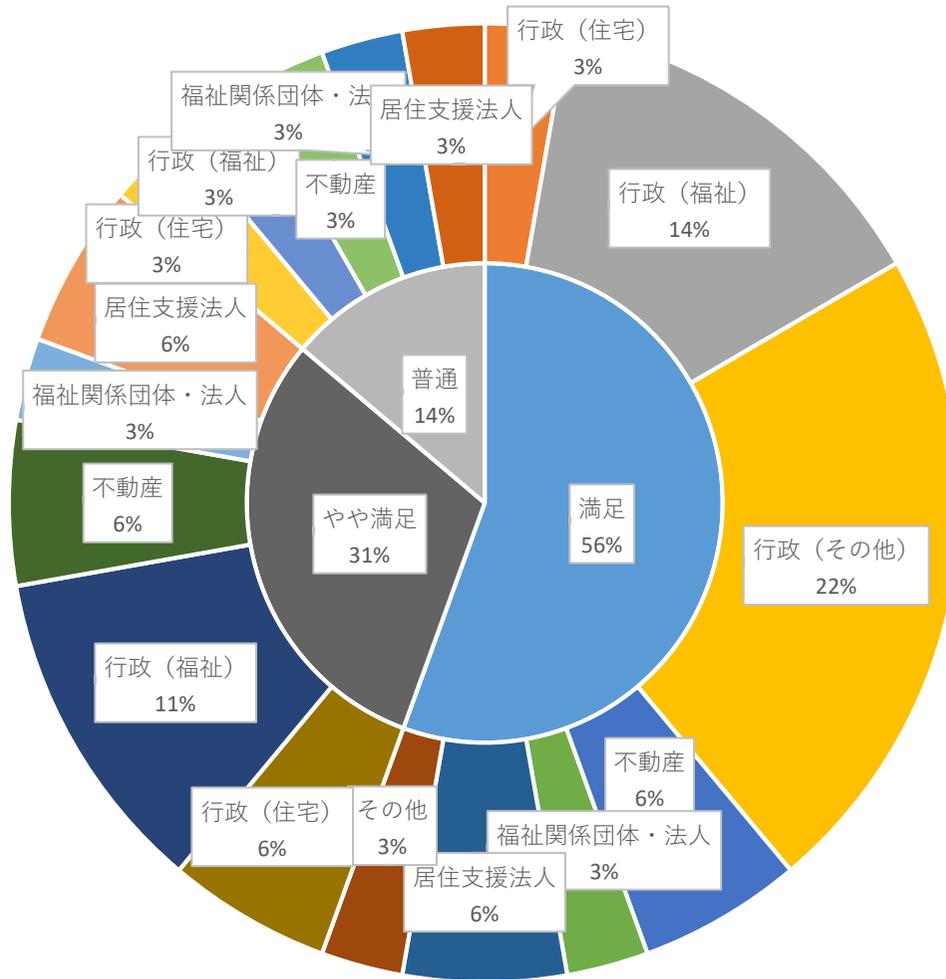


講演について



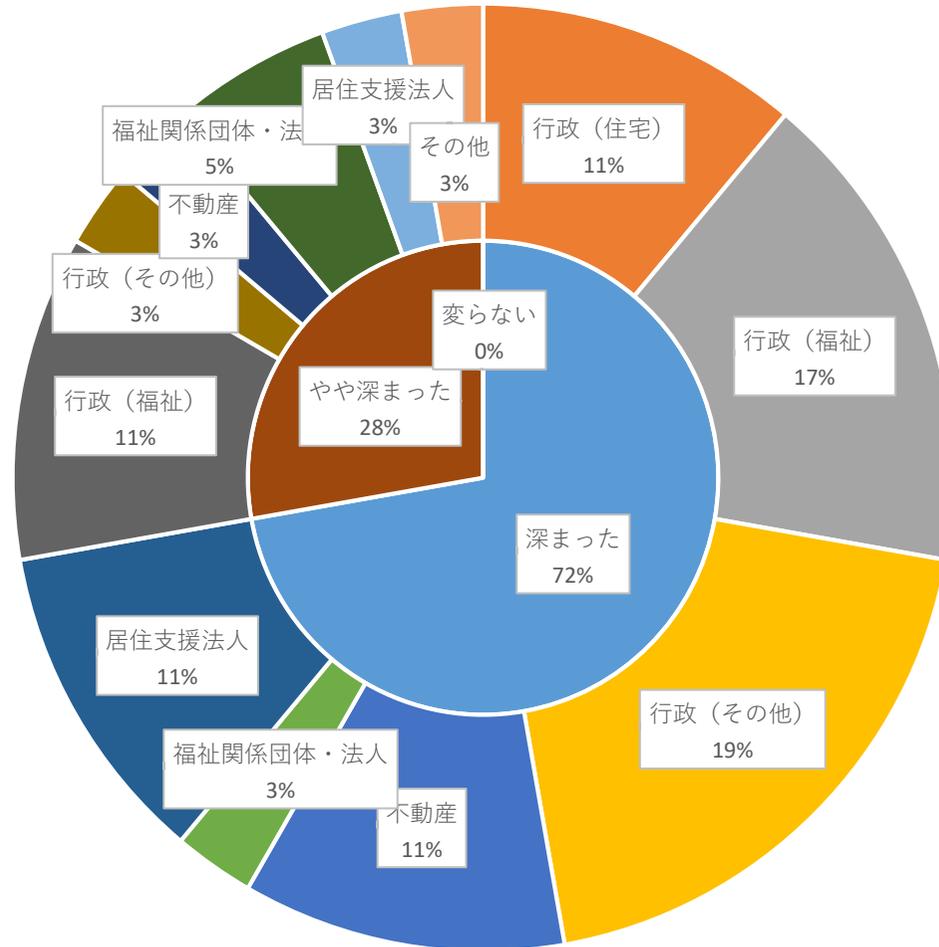
- ・とてもわかりやすい話で居住支援をよく理解できた
- ・後半の駆け足の部分がとても大切な部分だと思ったのでもう少し丁寧に聞きたい
- ・今やっている仕事を楽にしていけることが居住支援わがまちのこととして考えなければならない
- ・信用ある行政と民間の力を使い協力して、地域の資源を最大限に利用する
- ・包括支援システムに共感しています
組織的なシステムや仕組みを作る必要性を感じた
- ・現場ではニーズが多いので行政がしくみを早急に作る必要がある

意見交換について



- ・もう少し時間があれば色々な事例が聞けた
- ・自己都合ではない合理的配慮が必要と思った
- ・自己都合の認識が各福祉事務所で変っている
同じテーブルで話し合う必要がある
- ・時間が短かった
- ・小グループによる意見交換

居住支援に関する理解について



- ・佐伯で居住支援協議会が立ち上がることを願っています
住宅部局と福祉部局の溝を埋めていくことが必要
- ・居住支援協議会を通じ、これまでなかった（あったが上手く出来ていなかった）ネットワークを構築していけたらと感じた
- ・改めて地域コミュニティの重要性が考えられる
- ・独自の地域の特性を活かしながら居住支援を行うことが必要
- ・今後も継続的にセミナーに参加し、他の自治体とも情報交換を行いながら居住支援協議会設置へ向けて考えていきたい
- ・官民が集まって協議できる場があると良い
お互い出来ることを確認・共有し、それぞれが協働で支援できると色々進むと感じた
- ・横の連携とコミュニケーションが大事
- ・行政・民間のネットワークが有効
- ・まだ民間の意識と差があると思う
- ・佐伯市に必要なことだと思う